



発行所

兵庫県精神薄弱者愛護協会
兵庫県育成施設保護者協議会
〒654

神戸市須磨区友が丘1-1

発行責任者 金附 洋一郎

印刷所 交友印刷株式会社
〒652

神戸市兵庫区水木通9丁目1-34

電話 (078) 576-6161

国連・障害者の十年を終わって

兵庫県精神薄弱者愛護協会副会長

五色精光園 園長 山本

明

今年、皇太子殿下のご婚約内定で幕をあげました。不況の声を聞くこの頃ですが、明るい未来を象徴するようなおめでたい話題で、新時代の幕明けと心からおよろこびいたしたいと思います。また、アメリカではクリントン大統領が誕生しましたし、世界は大きく変わろうとしています。

わが愛護協会の今年は、第三十一回全国精神薄弱施設職員研究大会を、三千余名のご参加を得て神戸で開催することになります。関係諸機関の皆様のご援助を仰ぎながら、関係者一同力を出し合いその大きな大会を成功させねばなりません。

さて、「国連・障害者の十年」は昨年と終わりましたが、「完全参加と平等」のスローガンが始まった国際障害者年からは十二年を経過した今日、まだまだ障害者の福祉について考えてみるべきことが多いのではないかと思います。

一、障害者の概念。——国際障害者のテーマ「完全参加と平等」は、障

害者も一般市民そのものであるという極めて基本的かつ自明の理を再確認し、それを現実の社会で実現することをめざしたものと。

二、障害者福祉の理念。——障害者が社会において、一般市民と同等に生活し、活動することを保証すること。

三、障害者福祉の方向。——障害者個人に対する施策とともに、障害者を取り巻く社会的条件の整備も併せて行われて初めて、障害者福祉の全般的実現への道が開かれる。

これは、中央身障者対策協議会の「国内長期行動計画の在り方」についての提言の一部ですが、十年前を振り返り、あらためてこの提言の意味を考えてみたいと思います。

ノーマラゼーションの父バンク・ミケルセンは「どんなハンディキャップを持っても、ふつうに暮らせるように環境を変える」というごく単純なアイデアで語られています、そのことをよく考え、福祉の実践活動にいかさねばならぬと思います。

次に兵庫県では「福祉のまちづくり」を積極的にすすめようと、いろいろ計画、実施されています。福祉活動に従事する者として、環境の整備、社会的諸条件の整備をより積極的にすすめる、新しい時代にふさわしい福祉社会の創造に一翼を担わねばならぬと思っているところです。

なお、この十年の間に兵庫県下の精神薄弱関係施設が飛躍的に整備され、その状況をみますと、更生施設・授産施設ともに入所・通所を含め従前の倍数以上に新・増設され、通勤寮やグループホームも各地に計画、設置されつつあり、わが協会を構成しております障害児、者施設は大きく飛躍してまいりました。

このようにハード面ばかりでなく、ソフト面でも、ノーマラゼーションのアイデアを活かした活動が各地で実施されています。

障害は多様ですから、一人ひとりの障害にフィットした対応と活動が、なお一層すすめられねばならないと思います。

それぞれの場で、連携・協力しながら平成五年をがんばりましょう。「国連・障害者の十年」は「アジア・太平洋障害者の十年」に受け継がれますが、障害者の福祉に一層の努力を再確認したいと思っています。

第一回ひょうご ゆうあいスポーツ大会

第一回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会が、平成四年十一月十三日（金）姫路市立陸上競技場において盛大に行われました。

本大会は、兵庫県・姫路市・兵庫県精神薄弱者育成会・兵庫県精神薄弱者愛護協会の主催によるもので、県下各地から選手一五七三名、関係者やボランティア八百名が参加し熱気あふれる大会になりました。

また本大会は兵庫県愛護協会が実施して来ました施設親善陸上競技大会の伝統を発展時に継承すると共に全国ゆうあいピックへの出場資格参考記録会をも兼ねる事になりました。

出場対象者も養護学校生徒や在宅者に広がった為、一層なごやかで且つ真剣な雰囲気の中で行われました。これも教育委員会関係者をはじめ実行・運営委員の皆様の御協力によるものと深く感謝申し上げます。

この大会を通じて知的障害者の社会参加の機会が広がり、社会啓発がなされる事を期待したいと思います。

（文責 福田）

種目別成績についてはP3～P6のとおり



92 ゆうあいピック東京大会報告

・大会会期 平成四年十一月二十二

二十二日

・会場 東京・駒沢オリンピック

陸上競技場他

第一回全国精神薄弱者スポーツ大会が「手をつなぎ、この感動を分かちあおう」のスローガンのもと、全国から選手約三〇〇人、役員、関係者約二〇〇人の参加者を得て開催された。

第一日目は、前日からの雨天のため開催が危ぶまれたが、午前の開会式には皇太子殿下のご臨席を賜わり、お言葉を頂いたあと、選手代表の力強い宣誓が室内競技場に響きわたった。大会もスタートした、午後は大変寒く雨も少し残るという天気でしたが、聖火台が点火され、各会場において、トラック競技、卓球、ソフトボール等競技が展開されました。

第二日目は、好天に恵まれ、昨日に引き続いて熱戦が展開されました。閉会式は、各々の都道府県市の色とりどりのユニフォームで進行し、会場全体に感動の輪が広がりました。閉会式後、後楽園ドームで後夜祭が行われ、歌や踊りを楽しみ、大会が幕を閉じました。このスポーツ大会で多くの人に感銘を与え、友情とふれあいの輪が深まったことと思います。

・兵庫県参加選手数 十七名

・メダル獲得数 金三、銀九、銅三

（文責 尾上）

第1回ひょうごゆうあいスポーツ大会陸上競技大会種目別順位

1500m走 少女女子の部 参加者5名

順位	団体名	選手名	記録
1	姫路養護学校	富岡 和子	6' 39" 70
2	こやの里養護学校	羽田 野歩	7' 21" 63
3	姫路養護学校	芝本 優子	7' 27" 94

1500m走 少年男子の部 参加者27名

順位	団体名	選手名	記録
1	赤穂養護学校	志茂 裕章	5' 04" 46
2	姫路養護学校	小南 政英	5' 07" 24
3	上野丘学園	宮崎 充年	5' 12" 12

1500m走 青年女子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	宝塚さざんかの家	守川 敏江	6' 27" 34
2	春日学園	重富 幸子	7' 28" 00
3	宝塚あしたば園	川見 智子	8' 23" 30

1500m走 青年男子の部 参加者29名

順位	団体名	選手名	記録
1	かしのき園 しいのみ園	岡上 幸宣	5' 27" 45
2	上野丘更生寮	中村 剛	5' 47" 28
3	さわらび学園	高瀬 英樹	5' 50" 12

1500m走 壮年女子の部 参加者7名

順位	団体名	選手名	記録
1	香翠寮	川崎真知子	7' 57" 69
2	協和学園	家氏 輝美	8' 17" 56
3	赤穂精華園	高田 愛子	8' 26" 43

1500m走 壮年男子の部 参加者11名

順位	団体名	選手名	記録
1	播磨園	吉本 秀満	5' 32" 68
2	播磨園	御所 秀治	5' 41" 97
3	赤穂精華園	亀広 昭男	6' 03" 38

400m走 少女女子の部 参加者2名

順位	団体名	選手名	記録
1	龍野つくし園	高田 華織	1' 38" 52
2	ななくさ学園	水谷 芳重	1' 59" 38

400m走 少年男子の部 参加者30名

順位	団体名	選手名	記録
1	さわらび学園	道橋 健介	1' 07" 78
2	姫路養護学校	岡元 郁	1' 10" 54
3	姫路養護学校	是常 修一	1' 14" 05

400m走 青年女子の部 参加者7名

順位	団体名	選手名	記録
1	宝塚さざんかの家	藤原 万己	1' 34" 59
2	協和学園	住田 恵美	1' 41" 19
3	玉津むつみの家	北井 明味	1' 43" 00

400m走 青年男子の部 参加者37名

順位	団体名	選手名	記録
1	自立訓練センター	劉 剛志	1' 13" 73
2	神戸聖生園	塩田 順一	1' 15" 07
3	春日学園	大垣 政己	1' 16" 81

400m走 壮年女子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	三美学苑	西村 豊子	1' 44" 38
2	播磨園	松本 達子	1' 46" 06
3	三美学苑	島村 幸子	2' 02" 00

400m走 壮年男子の部 参加者10名

順位	団体名	選手名	記録
1	三美学苑	藤田 政和	1' 19" 72
2	播磨園	木原 敏明	1' 19" 88
3	播磨園	竹本 輝美	1' 23" 84

100m走 少年女子の部 参加者4名

順位	団体名	選手名	記録
1	姫路養護学校	岡本 年世	18" 74
2	かしのき園	秋月 理奈	19" 01
3	姫路養護学校	高田紀代子	19" 06

100m走 少年男子の部 参加者13名

順位	団体名	選手名	記録
1	自立訓練センター	葎迫 勝幸	13" 43
2	姫路養護学校	宗利 貴史	14" 04
3	姫路養護学校	佐竹 秀作	14" 15

100m走 青年女子の部 参加者5名

順位	団体名	選手名	記録
1	協和学園	松田 洋子	17" 29
2	木の根学園	松尾 幸枝	18" 90
3	木の根学園	松尾 秀子	19" 19

100m走 青年男子の部 参加者24名

順位	団体名	選手名	記録
1	ひのもと青年寮	折中 明宏	13" 24
2	春日学園	有本 勝三	13" 75
3	ひのもと青年寮	宮木 弘富	13" 85

100m走 壮年女子の部 参加者1名

順位	団体名	選手名	記録
1	六甲園	大内 純子	19" 84

100m走 壮年男子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	栗の木荘	市橋 栄史	15" 82
2	栗の木荘	水田 強	16" 02
3	六甲園	北浜 敏	16" 42

走り幅跳び 少年女子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	姫路養護学校	古川千賀子	2 m75
2	三田谷治療教育院	浜岡 一美	2 m68
3	姫路養護学校	児玉 陽子	2 m56

走り幅跳び 少年男子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	自立訓練センター	平隈 幸司	3 m71
2	姫路養護学校	瓜迫 忠明	3 m67
3	ななくさ学園	鳥羽 慎吾	3 m65

走り幅跳び 青年女子の部 参加者11名

順位	団体名	選手名	記録
1	春日学園	海原江美子	3 m15
2	六甲園	沢野 芳子	2 m90
3	ひのもと青年寮	川井 美佳	2 m90

走り幅跳び 青年男子の部 参加者12名

順位	団体名	選手名	記録
1	ひのもと青年寮	秋山 豊	4 m37
2	春日学園	島本 孝	3 m93
3	ひふみ学園	福田 義明	3 m89

走り幅跳び 壮年女子の部 参加者7名

順位	団体名	選手名	記録
1	赤穂精華園	田中 昭子	2 m72
2	播磨園	山下扶規子	2 m52
3	ふるさと寮	黒川 年子	2 m20

走り幅跳び 壮年男子の部 参加者9名

順位	団体名	選手名	記録
1	丹南精明園	児嶋 徳英	4 m04
2	ふるさと寮	大江 正広	3 m40
3	愛心園	藪下 八郎	3 m09

ソフトボール投げ 少年女子の部 参加者6名

順位	団体名	選手名	記録
1	赤穂養護学校	清水 麻里	23m82
2	赤穂養護学校	宮本 亜紀	22m60
3	いしかわ園	沼田喜久子	13m40

ソフトボール投げ 少年男子の部 参加者8名

順位	団体名	選手名	記録
1	氷上養護学校	野村 功児	49m81
2	赤穂養護学校	庵奥 淳史	43m66
3	姫路養護学校	木南 正則	35m30

ソフトボール投げ 青年女子の部 参加者13名

順位	団体名	選手名	記録
1	三美学苑	藤内美千代	27m78
2	ひのもと青年寮	池田 和恵	23m91
3	六甲園	位田はるみ	22m83

ソフトボール投げ 青年男子の部 参加者30名

順位	団体名	選手名	記録
1	三恵園	東野 隆司	70m00
2	ふるさと寮	森藤 洋二	63m00
3	春日学園	小笠原正幸	51m27

ソフトボール投げ 壮年女子の部 参加者17名

順位	団体名	選手名	記録
1	ななくさ育成園	蔵本のぶ子	23m35
2	六甲園	坂尾美恵子	20m68
3	姫路学園	家塚 裕美	20m21

ソフトボール投げ 壮年男子の部 参加者11名

順位	団体名	選手名	記録
1	六甲園	竹田 慶綱	52m28
2	三美学苑	井上 昇	48m07
3	播磨園	北川 義則	34m28

100m×4人リレー 青壮年の部 参加数28団体

順位	団体名	記録
1	自立訓練センター	56" 44
2	ひのもと青年寮	57" 97
3	赤穂精華園	1' 00" 62

100m×4人リレー 少年の部 参加数11団体

順位	団体名	記録
1	赤穂養護学校	54" 55
2	姫路養護学校	56" 99
3	出石養護学校	58" 59

第一回ゆうあいピック東京大会兵庫選手団成績

氏 名	年 齢	所 属		記 録				
山口 俊一	壮年	一 羊 園	走幅跳	銀	3,97m	立幅跳	4 位	2,18m
児島 徳英	壮年	丹 南 精 明 園	走幅跳	4 位	3,80m	立幅跳	金	2,23m
鳥羽 慎吾	少年	な な く さ 学 園	走幅跳	6 位	3,68m	200m	6 位	32秒2
北川 幸司	青年	赤 穂 精 華 園	100m	5 位	15秒4	200m	銅	31秒4
姫島 仁志	少年	協 和 学 園	100m	銅	14秒2	200m	6 位	30秒1
折中 明広	青年	ひ の も と 青 年	100m	銀	13秒8	200m	銀	28秒4
岡上 幸宣	青年	か し の き 園	1500m	銀	5分08秒3	800m	銀	2分34秒8
御所 秀治	壮年	播 磨 園	1500m	4 位	5分45秒8	800m	銀	2分50秒5
海原江美子	青年	春 日 学 園	走幅跳	金	3,41m	200m	4 位	38秒4
井上 正子	壮年	さ つ き 園	400m	—	途中 キケン	200m	5 位	53秒8
守川 俊江	青年	宝 塚 さ ざ ん か	1500m	銅	6分42秒9	800m	銀	3分14秒9
古門 初子	壮年	三 木 精 愛 園	1500m	—	途中 キケン	800m	5 位	4分36秒8
川崎真知子	壮年	香 翠 寮	1500m	銀	8分21秒2	800m	4 位	4分01秒5
宗利 貴史	少年	姫 路 養 護	50m	金	7秒5	100m	4 位	13秒9
山口 淳一	少年	阪 神 尼 分 校	1500m	5 位	5分07秒4	800m	銀	2分33秒3
生田 政義	少年	出 石 養 護	ソフト ボール	5 位	45秒7	1500m	5 位	5分45秒3
北川 幸司	青年	赤 穂 精 華 園	400mリレー	6 位	57秒6			
姫島 仁志	少年	協 和 学 園	〃	〃	〃			
折中 明広	青年	ひ の も と 青 年	〃	〃	〃			
宗利 貴史	少年	姫 路 養 護	〃	〃	〃			

平成四年

『愛護の集い』開かれる

平成四年九月十八日(金)県立のじぎく会館、大ホールで本年度の「愛護の集い」が開催された。県愛護協会、県育成会、県施設保護者協議会、三団体主催で、施設長、職員、保護者、育成会関係者一九〇名の参加者であった。集いは主催者挨拶の後、市の来賓に暖かい励ましの言葉を戴き、午前中は三団体の役員による今後の抱負、昼休憩は「ブカシンコ」によるアンデスの音楽、午後は、社会福祉法人、尼崎老人福祉会特別養護老人ホーム喜楽荘苑長、市川禮子氏による「生きる喜びをともし」と題する講演をおききし、大会宣言をして盛会の内に終了した。



愛護協会会長からは全国大会のことを中心に、育成会藤原会長は、知的障害者の生活、援護体制全般について、本人主体の視点に基づいた手だてを提示された。施設保護者協議会水

井手事務局長は、協議会の歴史と課題について述べられた。昼食後アトラクションは、アンデスの軽快な中に哀愁を含んだ演奏を聴きました。午後の部に移り、市川禮子氏の講演は、実践と理論をおり混ぜながら、福祉、高齢者問題、在宅サービス、施設のあり方、職員のあり方、スエーデンの福祉、又21世紀の福祉社会と中広いお話だった。居住施設でノーマライゼーション＝市民的自由のある生活を実践しようということ、喫茶、買物等を自由にしておられ、夜呑み屋へ行くことも月1〜2回は自由にしておられるとの事、又、旅行も本人の一番行きたい所へ行くという主旨で春、秋に「組職員介護で行っておられるとのこと。又痴呆を伴う人にも、薬を減らし、徘徊も受容し、日常生活リズムをきっちりつけることを主眼としてケアしておられる等々、マスコミにも注目され、老人の日にテレビ放映がされたとの事。その処遇理念を、実践で徹底されておられることが心に残りました。又我々施設関係者も、人権を口だけでなく、行動に移すことを強く促されました。

(文責 碓)

第一回

『ひょうご・ゆうあい音楽祭』開く

第一回ひょうご・ゆうあい音楽祭がさる十一月二十九日(日)三田市民会館でにぎやかに開催されました。この音楽祭は、知的な障害を持つ人たちが社会とふれあいをすると共に音楽を楽しむ余暇時間を充実させようとするものです。

当日、午前中は、会場準備とリハーサルを行い、本番は午後一時から始められ、三田市ながさか作業所の皆さんによる「ながさか太鼓」の勇壮なひびきに優雅な和服すがたの「平成音頭」の舞踊に大拍手がまず起こりました。

瀬々倉県福祉部長、塔下三田市長の祝辞に続いて、9グループから出演した皆さんの精一ぱいの演奏に涙と拍手と激励の声が続きました。

出演音楽グループは次の通りです。

- ①グループ ゼロ (伊丹市)
- 「テキサスの黄色いバラ」「黄色いリボン」「ロングロングアロー」
- ②コロモス 21 (宝塚市)
- 「魔法の鈴」「ヘイ・ジュード」
- ③りん・りん・りん (川西市)
- 「ひとりの手」
- ④東山アドバンス (東山荘)
- 「野に咲く花のように」



「ビビディ・バビディ・ブー」
(文責 育成会事務局)

- ⑤楽団ポケット (三恵園)
- 「ふしぎなポケット」「おかあさん」「しよじよ寺の狸ばやし」
- ⑥コーラス タンポポ (西脇市)
- 「天使の羽のマーチ」「あなたのえがお」
- ⑦筒井宮オールスターズ (神戸市)
- 「鉄腕アトム」「YOU ARE MY SUNSHINE」
- 「愛をこめて」
- ⑧グループ ド・レ・ミ
- 「キラキラ星」「小さな幸せがそうよ」
- ⑨さんだ AYE AYE
- 「チム・チム・チェリー」

シンボルマーク決定

昨年六月十八日付で、各施設長あて依頼いたしました第31回全国施設職員研究大会のシンボル・マークの募集について、八月末の締め切りまでに、六名の方から計一三点の応募がありました。いずれも力作揃いでしたが、九月一〇日の役員会の席上で慎重に選考いたしました結果、入選は、光燿会東山荘の山田 敦さん

の作品と決定しました。さらに、作者の了解を得て専門家に手を入れていただき、最終的に、このようなデザインになりました。神戸戸にふさわしく波と風見鶏をアレンジしたデザインで、風見鶏は今後の日本愛護の発展の方向を示し、同時に、平成五年の干支をあらわしています。いろいろな機会にこのマークを利用して、大会のムードを盛り上げていただきますようよろしくお願いします。

(総務部会 中川)

施設職員研究大会
へ 向 け て

テーマ

二十一世紀にむけて
―施設の新しい役割―

過去の三十回の大会において実施されてきた手順と流れを変え、兵庫方式とも言える方法を導入していくことを考えている。その第一は、利用者、本人の部会を設定していることである。これは過去の大会でもゲストとして利用者本人が参加したことはあったが、分科会を一つ設定することは、新しい流れである。又大会初日の全体会の冒頭には、大会を通してのキーワードとも言えるべきポイント、基調講演方式で今井鎮雄同社大教授・神戸YMCA総合研究所長に講演願う。そのキーワードとは、人権であろうか。地域での生活であろうか、施設職員の新たな基準、役割であろうか。世の中の基準と福祉の基準の同一性であろうか。

全体研究発表も、それを意識して全国から四題逆指名している。

シンポジストにも大熊由

会場御案内

起子さん伊藤隆二さん増田大成さんを予定しA・H・ニノミヤさんによってコーディネート願う。内容もポリシーのあるものになるであろう。分科会においても、利用者、本人部会を合わせて十六分科会を予定し、出来る限り職員の大会であるというところを強調し、司会進行や運営面にスタッフとして多くの職員の動員を予定している。参加者予定数が三〇〇〇名を越すマンモス大会となるので、十分なる準備と打ち合わせの中で、兵庫の息吹きと心意気を全国に伝えていきたいと鼻息荒らく県下の施設関係者をお願いしたい。最終日の特別講演においてはまさに時の人である兵庫県立総合リハビリテーションセンター所長澤村誠志先生により「ノーマラゼーションの理論と実践」について語ってもらい、今年からはじまる「アジア・太平洋障害者の十年」への取り組みと関連し、まさに今後の十年、二十一世紀へむけてのメインテーマの総括となるでしょう。こぞって参加し大会を盛り上げていきましょう。

(研修部会 婦木)

準備着々

第三十一回全国施設職員研究大会が、神戸市中央区ポートアイランド国際展示場二号館と国際会議場等、十六分科会場(十四分科会場はあわせの村研修館ホール・本人事務)で九月二十八日(火)二十九日(水)九月三十日(木)に開かれる。

二十七日にはリハースルがある。すでに二十一世紀へ向けて「施設の新しい役割」をテーマに、金附洋一郎会長、田中昭二事務局長を中心に総務部、研修部、参加部、会場部に別れて準備が進んでいる。

総務部でも既に、昨年九月一日にはシンボルマークを決定、十一月末には「大会要綱」の概要を各府県役員に提示、十二月四、五日の有馬における施設長一泊研修に大方のご協力を依頼してきた。

同時に迎えた県愛護三〇周年としての「三〇年記念施設要覧」は原稿提出期日を「二月二十八日」として、神戸明生園河嶋良男園長を中心に編集されている。当日の出席者には一冊ずつ配布され、一一九施設を持つ「兵庫愛護」の現況を詳細に知っていただくようになっていく。大会要綱は、事務局で作られ、今のところ四月一日には各都道府県愛護に発送

して、六月三十日までにまとめて申し込むようになっている。

三〇〇〇名を予定している。

参加費、九〇〇〇円として予算規模は三六〇〇万円になっているが、民間団体のことでもあり、資金面でも不足、兵庫県、神戸市のご協力を仰ぐのとともに、大会要綱の冊子に、各方面からの広告掲載を依頼してお力ぞえをお願いしている。

各施設、各方面の格別のご理解とお力ぞえをお願いしたい。

着々と進む準備ではあるが、大会を動かすのは人である。既に各施設にご依頼してご協力をお願いしているが、毎月の施設運営、処遇しながらの大会のこと、大変であるが、兵庫県で開かれる初めての全国大会である。

四十六都道府県順番に回るとして四十六年に一度の大会、今、施設に在職する職員にとってはまず二度とない好機である。

「県愛護」にとっても「職員」ひとりひとりととって、精神薄弱者福祉の方向を確かめ、「福祉道」を確立し、「福祉職」向上に力をあわせたいものである。(総務部会 大村)

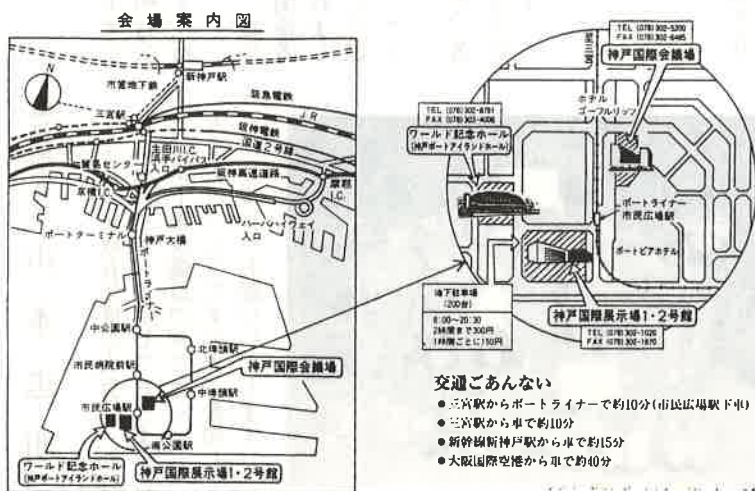
特集

第31回全国精神薄弱

会場部会は平成四年七月より活動を始めています。まず全国より約三、〇〇〇名の皆様をお迎えして大会を開催する場所は、ポートアイランド内の国際展示場と国際会議場(国際交流会館)周辺で全体会、分科会を行うことを決定し、全体会は国際展示場二号館(約四

〇〇〇名収容可能)分科会は国際会議場を中心に国際交流会館、神戸商工会議所等を利用して十六分科会場を決定いたしました。ただ第十四分科会の「利用者(本人)職員部会」については神戸市の「しあわせの村」の宿泊施設、研修施設等を利用して行うことになりました。現在は細部のツメを行っている段階で、全国の皆様に思い出多い兵庫大会となりますように努めて参ります。幸い神戸では平成五年九月三十日

大会 会場図



まで全市を挙げてアーバンリゾートフェアが開催されておりますので、神戸の街を楽しんで頂けたらと考えています。

(会場部会 河野)

中堅職員研修会報告

研修部長 婦木 治

平成四年度中堅職員研修会をハーバランド内神戸市総合児童センター「こべっこランド」にて十一月二十六日六十八名の参加者を得て開催しました。今回は、平成五年九月に当県で実施される第三十一回施設職員の全国大会への中核的存在である職員の意識高揚のためにも重要な会となった。開会に先立ち、金附会長より全国大会へむけての意気込みと進捗状況が熱っぽく語られ、シンボルマークの回覧もあった。続いて研修会の特別講演として岡山市の社会福祉法人旭川荘、旭川学園に長で川崎医療福祉大教授の山村健氏より『本人の思い、私(達)の思い』という演題で語ってもらった。山村氏は、大学にて心理学を学ばれ、心理判定やケースワーク、臨床心理を専門とされている。自分が人生の主役・しかし自分の思うにまかせないのが現状と開口一番知的障害者の制約された生活について語られた。長谷川泰造氏(弁護士)が島根大会のシンポジウムの席上において施設における規制と制約の実態について又人権の侵害について、利用者の目を通して

語られたことを高く評価され、人から自分にされていやなことは人にするな」とノーマラゼーションの具現化について語られた。山村氏は、学位を取得されるのに、重い障害の人で医療ニードの高い人の表現力に乏しい人がどういう思いで生きているかを研究され、感情の交流の大切さを説かれた。つまり心の内を読むということである。そして、施設現場で特に不足しているのが、カウンセリングの機能である。利用者と面と向かい言葉のやりとり、心の交流が出来ていけばすばらしいことである。施設入所者は、自ら望んで入所している人はないのではないか、このことは施設職員が常に心の中にもっていないなければならないことである。最後に人類は、今まで類をみない物質文明を経験してきた。しかし来る二十一世紀は、精神文明、心の文明の時代である。つまり福祉の時代の到来である。我々施設関係者は、高い使命感を持ち、努力していかなければならないと結ばれた。午後は分科会として、(1)強度行動障害への対応(2)施設生活と人権及び重度・高齢者処

バレーボール大会

職員部会長 山本 忠明

第十五回施設職員親善バレーボール大会が、昨年九月十三日に明石公園バレーボールコートに於いて、行われました。

当日は、天候にもめぐまれ、参加二十二チーム、二〇〇名近い関係者が集まり、熱戦が繰り広げられました。特に、決勝戦は、すばらしい試合内容であり大会をしめくくつてくれました。

今後ともバレーボールを通じて、各施設職員の交流が深められるようにつづけられればと思っています。

(大会の成果は次の通り)

優勝Ⅱ上野ヶ丘さつき会
準優勝Ⅱもみの木福祉会
第三位Ⅱ新緑福祉会A
最優秀選手賞

男子 上田 誠良(上野ヶ丘)
女子 細見三知子(もみの木)

遇(3)地域生活活動の三グループに分かれ討議を重ねた。各施設とも運営面・処遇面ともかなり課題をもっているところが多くあったが、研修会だけでは結論が出ず、より深めていくためにも、研修部会中に専門委



なお、平成五年度の大会は、九月五日(日)に、予定しておりますので、県下施設職員のみなさんは、二人でもけっこうですのでご参加してくださいようお願いいたします。

員会を組織し、各部門の専門的な研究を実施していかなければならない。そして、その研究成果を示し、科学的な根拠から、改善、是正の方法をとっていかなければ、進まないと思う。

保護者会の事業内容について

伊丹市立くすのき園保護者会 野口 公子

私達の保護者会は、会員が協議して園生の福祉増進のため努力すると共に、会員相互の研鑽と親睦を図ることを目的とし、その達成の為に、その4つの事業を行っています。

- 1、くすのきの園発展充実のため努力する。
- 2、園生のための調査、研修、見学等を行う。
- 3、伊丹市手をつなぐ親の会、その他の同種目的のため結成された団体に協力する。
- 4、その他目的達成のために必要な事業。



文字として並べれば、わずか数行ですが、諸行事の売店当番、バザー活動、募金活動、親の会事業の応援研修会への参加、宿泊訓練事業等々なかには、園職員の方々の施設見学や話し合い、また、親睦会といった楽しい場もあります。が、いつもでもこのようなこ

とを一つづつやることも少なくありません。また、実際に動くことによつての身体的な疲れであれば、まだまた若いので、大丈夫ですが(かなり無理を言っています)、手をつなぎ合わない親の会・保護者会、そのように思える時は、気持ちも滅入ります。少し愚痴ってしまいましたが、しかし、私達はわかっています。

お互いに認め合い、衝突し合い、そして行動する。このような繰り返し、社会を動かす、地域の中での暮らしやすさにつながっていくことを、また、障害者が社会のあり方に合わせていくというよりも、社会が変わることによって、障害者が障害者でなくなる。そのようなことを考えてくれる人達が増えてくることを。

地域福祉、市町村福祉の時代あるいは第二次障害者の十年といった言葉を聞きます。確かに、社会の動きは一步步前進しているように思いますが、現状は、年いくと共に、あせりを感じさせられます。でもこのような遅々と感じられる世の流れでも、私達の行動が確実に社会を変えていくものと信じて、これまでどおり歩んでいきたいと思っています。

施設紹介

△精神薄弱者通所授産施設▽
社会福祉法人 新緑福祉会

新緑の家

所在地 神戸市西区平野町下村字平瀬四三六
電話 (078) 961-1506
設立 平成四年八月一日
定員 五五名
施設長 藤森 一也
職員数 十四名
沿革



社会福祉法新緑福祉社会は、神戸市精神薄弱者育成会が母体となり設立され、法人内で四番目の施設としてここ西神戸に開設されました。

施設利用者が個人的、社会的に可能な限り自立して、利用者の能力や機能により生き生きとできる「人間存在」として成長していけるように作業、生活の

両側面から支援、援助するとともに、地域福祉の核として機能することを目指していきます。

支援・援助方針

一、個々の利用者の立場と人権をふまえ、利用者自身が主体的に判断・行動し、責任感をもてるよう援助するとともに、他者と共存し、集団、協力関係がもてるよう、支援、援助していきます。

二、利用者を取りまく環境が、精神的に豊かになって、いくよう支援・援助していきます。

(作業支援・援助)

・利用者の能力や意思を尊重し、利用者一人一人の状況に合わせて作業素材を提供し、作業能力の向上に努めます。

・施設内作業だけでなく、体験実習・施設外作業を通して「一般社会」との交わりを大切にして、利用者自身の社会適応力の向上に努めます。

(生活支援・援助)

・施設として可能なかぎり、一般社会人としてふさわしい様々な生活場面の提供を通して社会性を養い、充実した生活が利用者自らが営めるよう配慮します。

・利用者自らが自己の生活を切り拓いていく上での健康・体力の向上に努めます。

施設紹介

(精神薄弱者通所授産施設)
社会福祉法人 とよおか福祉会

とよおか作業所

所在地 豊岡市若松町三番十四号
電話 〇七九六(二四)一五七〇
開設 平成三年五月一日
定員 三〇名
施設長 長谷川發正
職員 九名(うち指導員五名)

沿革
とよおか作業所は、昭和五十二年五月に豊岡市中心身障害(児)者育成会が運営主体で、とよおか共同作業所として事業が開始されました。

その後対象者の増加に伴ない平成三年三月、法人の認可を得て、同年



五月一日、とよおか作業所として開設、現在に至っております。

設立運営の方針

精神薄弱者福祉法の理念及び法人の設立目的に基づいて、障害をもつ人の自立援助のため、入所者に対して忍耐強く愛情をもって接し、共同生活の中で適切な生産活動を指導し、かつ、日常生活訓練も行なうて能力開発を図り、地域社会の一員として自活できるような処遇を中心に運営する。

処遇の内容

一、入所者の諸機能の発達を促し、判断力、集中力、持続力を育て、勤労意欲及び責任感を高める作業指導を行う。

二、あらゆる機会をとおして生活指導を行ない、入所者に日常生活のよりよい習慣及び社会生活への適応力を身につけさせる。

三、地域住民及び関係機関、団体等と常に連携して理解を深め、共に生きる社会の実現につとめる。

年間行事等

①クラブ活動、②調理実習、③花見会、④一泊訓練、⑤春秋各一回の遠足、⑥親子一泊旅行、⑦文化祭開催、⑧もちつき大会、⑨運動会への参加、⑩ボランテア主催の海釣り会へ参加、⑪避難訓練実施

△日誌抄▽

(ひょうご愛護ニュース38号以降)

8月5日 第1回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会姫路市立陸上競技場現地打合せ会通所授産施設
8月24日 「新緑の家」竣工式
9月10日 第3回県愛護施設親善バレーボール大会 明石市
9月13日 第五回県愛護施設親善バレーボール大会 明石市
9月18日 平成4年度「愛護の集い」会場 神戸のじぎく会館
9月24日 第30回全国精神薄弱施設職員研究大会、松江市で開催兵庫愛護(〇〇名参加)県育成会大会(西脇市)
10月8日 第4回県愛護役員会
10月15日 第1回ゆうあいピック東京大会出場選手結団式
11月6日 第1回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会姫路市立陸上競技場で開催
11月13日 第1回ゆうあいピック東京大会開催42名参加
11月20日 11月26日 県愛護中堅職員研修会
11月29日 (神戸市こべっこランド)第1回ひょうご・ゆうあい音楽祭(三田市民会館)
12月3日 平成4年度施設長研修会
1月8日 第5回県愛護役員会

△行事予定▽

1月22日 平成5年福祉四団体賀詞交換会(神戸楠公会館)
2月20日 県愛護授産部会(神戸聖生園会議室)
3月1日 県愛護県外研修 大阪府下平学園・修徳学院
3月2日 県愛護更生施設部会「三田こぶしの園」
3月5日 第6回県愛護役員会
3月11日 平成5年度 総会(神戸六甲荘)
4月23日 第2回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会(高砂市陸上競技場)
5月13日 平成5年愛護の集い(神戸のじぎく会館)
9月3日 第31回全国精神薄弱施設研究大会(3000名参加予定)会場・神戸ポートアイランド国際会議場
9月28日 第37回兵庫県精神薄弱者福祉大会(神戸市)
10月14日 第2回ゆうあいピック熊本大会(熊本市内)
11月15日 第2回ひょうご・ゆうあい音楽祭(伊丹文化会館)
11月18日 福祉四団体賀詞交換会
11月25日 神戸楠公会館
1月21日